

鹿角市地域福祉計画策定に関する
事業所アンケート調査結果報告書
(概要版)

令和5年11月
鹿角市健康福祉部 福祉総務課

目 次

- | | |
|-------------|--------|
| ① 実施概要と回収状況 | P1 |
| ② 調査集計結果の概要 | P2～P13 |

＜資料＞地域福祉計画策定に関する事業所アンケート調査票

P14～18

事業所アンケートについて

① 実施概要と回収状況

1 調査目的

鹿角市地域福祉計画並びに地域福祉活動計画・成年後見制度利用促進基本計画の策定にあたり、社会福祉に寄与することができる地域資源の発見及び取り組みの促進と、各事業所の現場で起きている地域福祉等に関する課題や問題を調査することを目的とし、事業所アンケートを実施した。

2 設問構成

No.	設 問
1	地域住民が参加できるイベントを開催するなど、地域住民との交流を図っていますか。
2	地域住民の行事や集まりに参加していますか。
3	土地や建物などのスペースを地域に開放していますか。(例：駐車場や会議室など)
4	従業員に対してボランティア活動への参加を推進していますか。
5 (1)	地域の抱えている課題や住民のニーズを把握していますか。
5 (2)	(1) で1・2・3を回答された方に伺います。 課題やニーズの把握方法とその課題・ニーズを教えてください。(自由記述)
6	従業員(職員)の研修等として、福祉に関する体験や学習(障がい者理解のための疑似体験や介助の体験学習など)を行っていますか。
7	今後、地域福祉に関する活動を行う場合、さらに連携していきたい団体や機関(現在連携している団体や機関も含む)はありますか。(複数回答)
8	地域において、成年後見制度の利用を必要とする人を発見したり、利用のための支援をしたりすることはありますか。
9	誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし、誰一人取り残さない(SDGs 理念)地域づくりを進めるために、ご意見ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

3 実施日程

令和5年8月21日(月)から9月15日(金)まで

4 実施対象

市内介護保険事業所、障害福祉事業所、児童福祉施設など 74事業所

区 分	事業所数
介護保険事業所	45
障害福祉事業所	23
児童福祉事業所	6
合 計	74

5 実施方法

- (1) 配付 郵便による配付
(2) 回収 郵便(受取人払い)による回収

6 回収率

73.0% (54 事業所/74 事業所)

②調査集計結果の概要

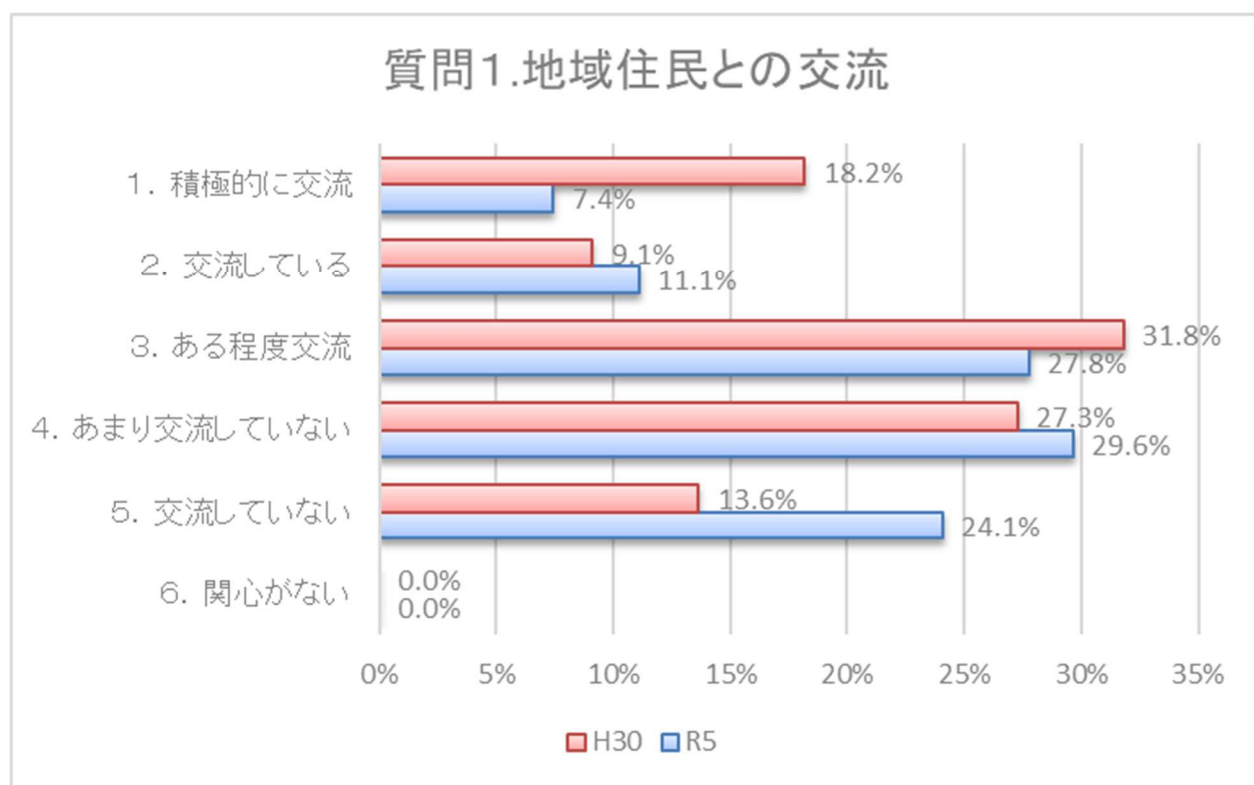
【質問1】

地域住民が参加できるイベントを開催するなど、地域住民との交流を図っていますか。

1. 積極的に交流している
2. 交流している
3. ある程度交流している
4. あまり交流していない
5. 交流していない
6. 関心がない

《調査結果の概要》

地域住民との交流については、「あまり交流していない」が29.6%と最も多く、次いで「ある程度交流している」が27.8%、「交流していない」が24.1%となりました。



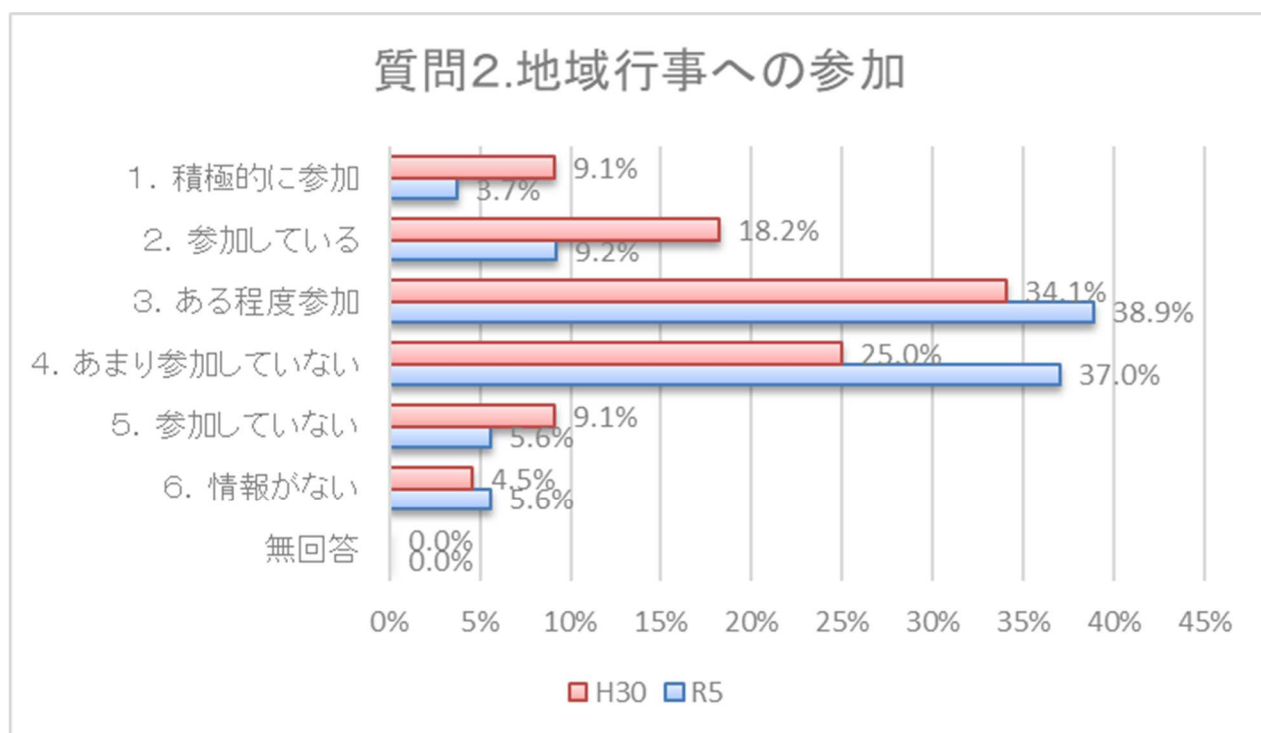
【質問2】

地域住民の行事や集まりに参加していますか。

1. 積極的に参加している
2. 参加している
3. ある程度参加している
4. あまり参加していない
5. 参加していない
6. 行事や集まりの情報がない

《調査結果の概要》

地域住民の行事等への参加については、「ある程度参加している」が38.9%と最も多く、次いで「あまり参加していない」が37.0%、「参加している」が9.2%となりました。



【質問3】

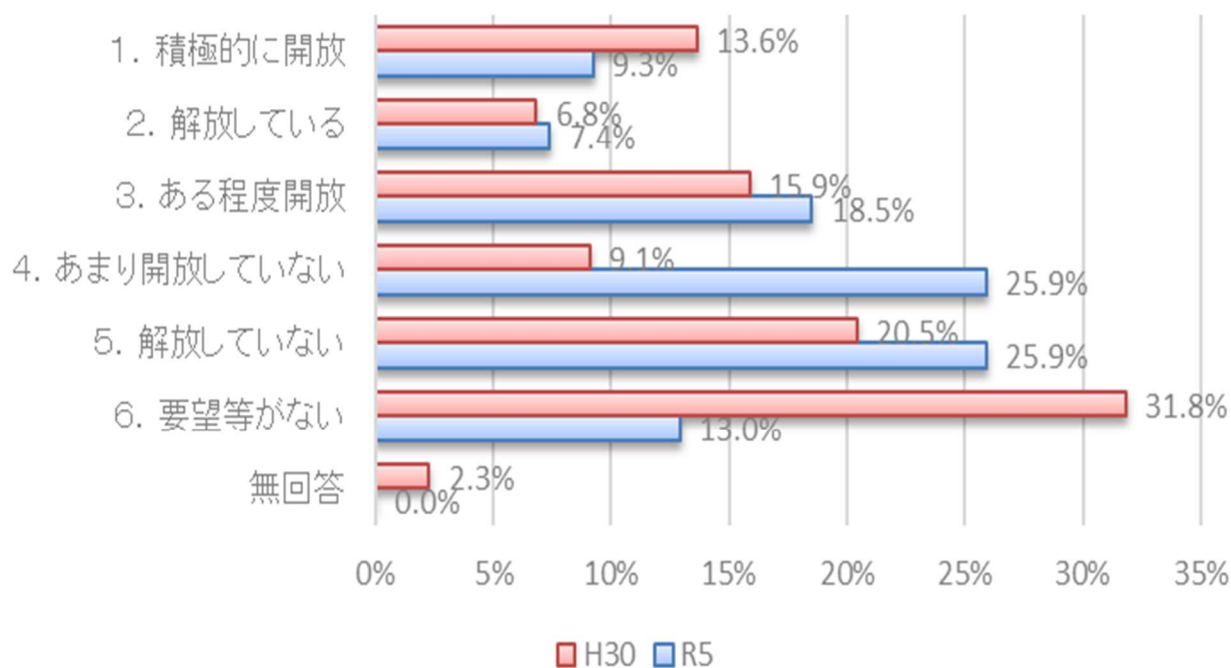
土地や建物などのスペースを地域に開放していますか。（例：駐車場や会議室など）

1. 積極的に開放している
2. 開放している
3. ある程度開放している
4. あまり開放していない
5. 開放していない
6. 要望がない

《調査結果の概要》

地域への建物等の解放については、「あまり開放していない」と「開放していない」が25.9%と多数を占めています。次いで「ある程度開放している」が18.5%となりました。

質問3.地域への建物等の開放



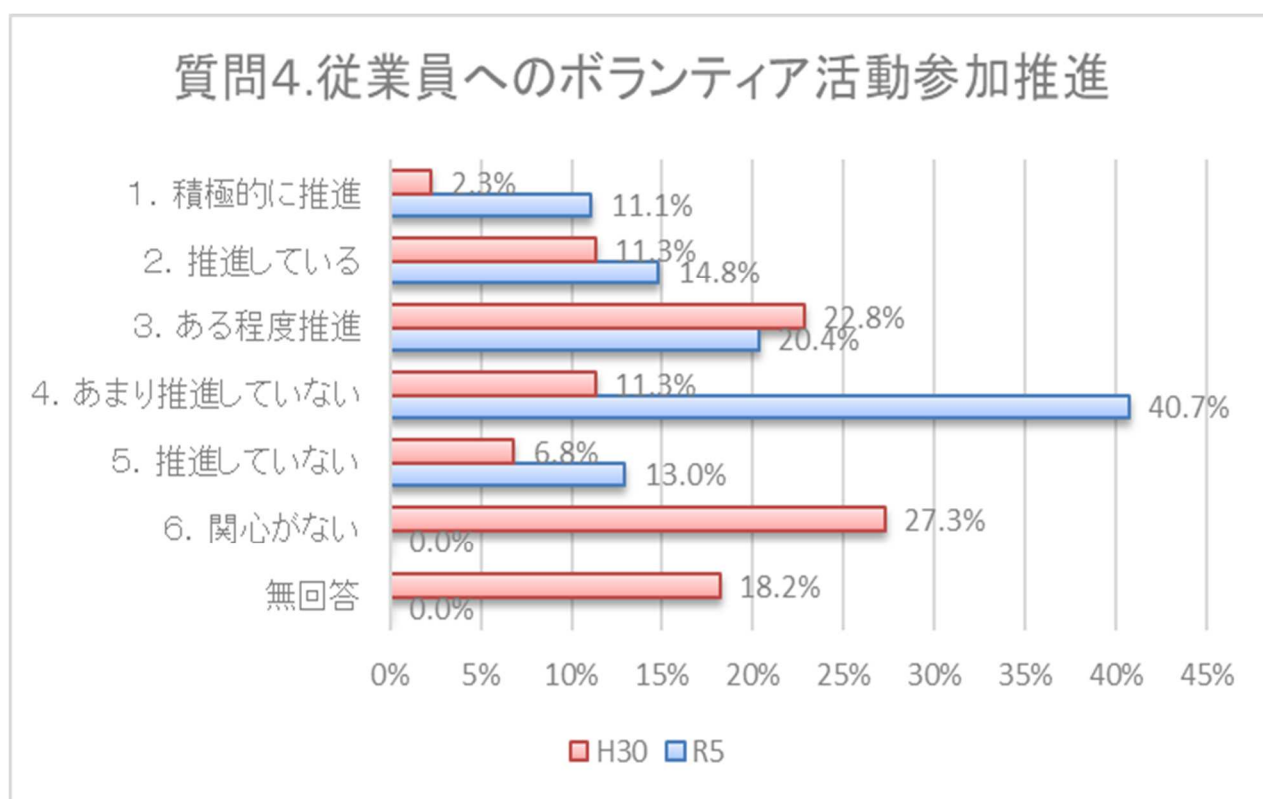
【質問4】

従業員に対してボランティア活動への参加を推進していますか。

1. 積極的に推進している
2. 推進している
3. ある程度推進している
4. あまり推進していない
5. 推進していない
6. 関心がない

《調査結果の概要》

従業員に対するボランティア活動への参加推進については、「あまり推進していない」が40.7%と最も多くなりました。次いで「ある程度推進している」が20.4%、「推進している」が14.8%となりました。



【質問5】

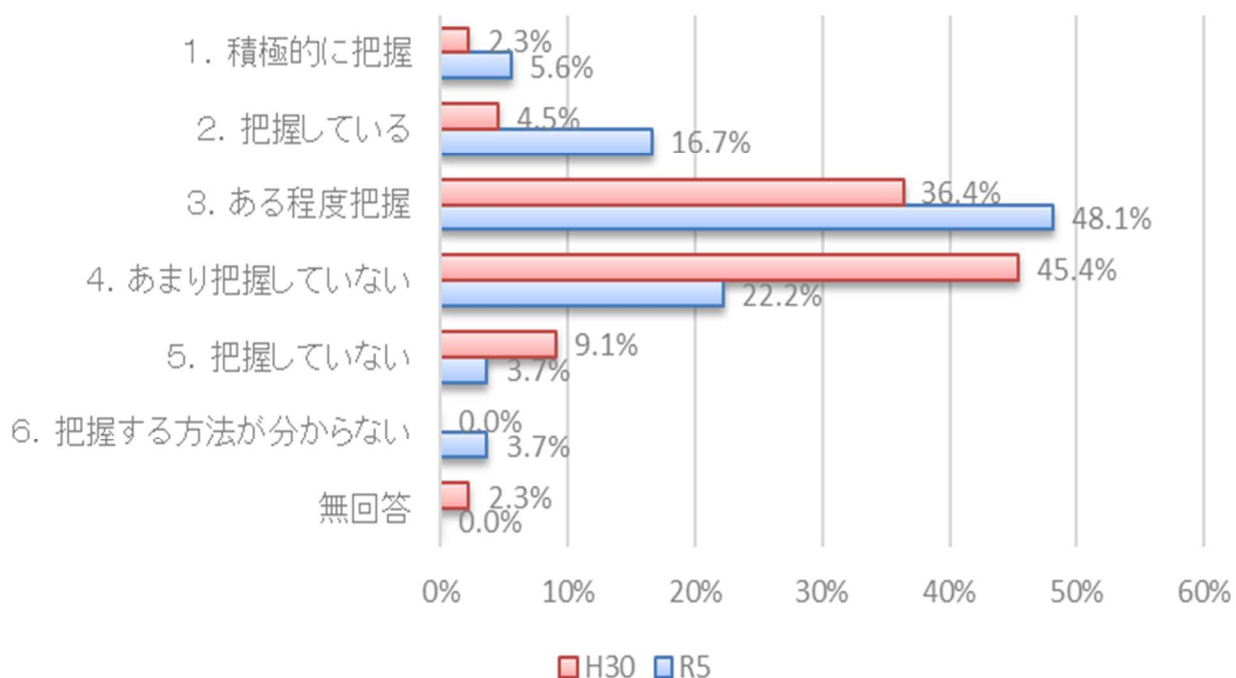
(1) 地域の抱えている課題や住民のニーズを把握していますか。

1. 積極的に把握している
2. 把握している
3. ある程度把握している
4. あまり把握していない
5. 把握していない
6. 把握する方法が分からない

《調査結果の概要》

地域の課題・住民ニーズの把握については、「ある程度把握している」が48.1%と最も多くなりました。次いで「あまり把握していない」が22.2%、「把握している」が16.7%となりました。

質問5.地域の課題・住民のニーズの把握



【質問５】

（２）質問５（１）で１・２・３を回答された方に伺います。

課題やニーズの把握方法とその課題・ニーズを教えてください（自由記述）。

＜課題やニーズの把握方法＞

・市の人口動態、市福祉事業の統計等

＜課題・ニーズ＞

・高齢化、少子化
・老々介護
・産科が無い
・公共機関の不便さ(山間部 etc)特にバス
・医療に対する不安(常勤医不足)
・福祉サービスの人材不足

・認知症カフェに”認知症”って名前についているので抵抗があるとの話を聞きます。

・新型コロナウイルス感染禍での地域交流は、なかなか難しい所がたくさんあります。
通いの場でも送迎が無いと集まらない方々がいる。

＜課題やニーズの把握方法＞

・訪問相談、来所相談

＜課題・ニーズ＞

・買い物、通院等の交通手段、地域にお店自体がない、バスが無い
・高齢化、若手(働き手がいない)
・一人暮らし、高齢世帯の増加
・除雪ができない

・認知症カフェへのご利用者の参加

・アンケート等により利用者ニーズを把握している。様々な声があるため、対応できるものは改善を図り進めている。

・人口減少、少子高齢化が深刻になってきている。人口減少によって労働力不足、空き家の増加などの問題が生じている。

・鹿角を活性化する為には、自分たちの地域にどんな魅力、特徴があるのか、市民が把握し、その魅力を伝えるよう目標を持って課題点を洗い出して対策を立てていく。

・事業所で洗濯代行業を行っている。訪問先のお客様(高齢)に話を聞く機会がある。食事・洗濯の配達をするが、玄関先まで物を置きに行けない、取りに行けない。ヘルパーさんに頼んでいるが支援なので少しの時間の援助の為、色々頼むことが出来ない。

・インフォーマルなサービスももう少し充実してくると、サービスとサービスのすき間がなくなると思います。

・高齢化(コロナになり近隣とのつながりはやすい)

・少子化(今年になり改善はしてきているがまだまだかと)

・事業所連絡会等で情報共有や、地域密着型サービスの運営推進会議での情報から課題やニーズを把握しています。

・また、市内で開催されている各種研修会、勉強会などで、多職種の情報を得ています。

・介護度が軽度の方でも、一人暮らしの方は毎日、複数回の訪問のニーズがある方もおります。

・身内が近くにいない、または身元引受人がいない、というケースが増えてきています。

・少子高齢化
・急激な人口減少
・労働力不足
・インフラの経年劣化
・地域コミュニティの弱体化
・空き家の増加

・地域文化継承のための後継者 ・熊、鹿、猪 ・荒地の増加 ・医療、福祉、防災、安全の確保
＜課題やニーズの把握方法＞ ・毎月開催しているサービス点検調整委員会において、委員の皆様から地域の情報を頂戴している。 (委員会の構成)民生委員、社協職員、福祉施設職員 ・2ヶ月に1度開催している運営推進会議において、委員の皆様から地域の情報を頂戴している。 (委員会の構成)利用者家族、自治会長、民生委員、市役所職員 ＜課題・ニーズ＞ ・独り暮らしの不安(地域とのつながりが希薄になった) ・働き手不足(鹿角市に、若者が魅力に感じる雇用がない) ・医療機関への移動手段の問題など
・地域別に課題を聞く。(メール・紙どちらでも記入できるように)
・児童数の減少。 ・病院、通院への不便さ。また交通の不便。 ・子供たちの集まりやすい場所、学ぶ場所が増えてほしい。
・年1回、地域の代表、福祉員、福祉協力員、民生委員を対象に「ふくしのまちづくり推進会議」を市内4地区で開催。グループワークを通して地域の課題やニーズ把握を行っている。
＜課題やニーズの把握方法＞ ・鹿角市自立支援協議会に参加し、情報を得ている。 ・サービス点検調整委員会(隔月)にて、地域住民の委員の方々より情報をいただいている。 ・法人で課題やニーズの把握を行っており、メンバーを通じて情報を得ている。 ＜課題・ニーズ＞ ・就労の場全体で人財が不足している。(人口減少等) ・福祉サービスを受ける人自体減少傾向にある。 ・発達障害等で就労に繋がらないケースに対する環境の整備。(受入れ体制、サポート等) ・移動手段がないことでの、通院、手続き、買い物等に不便を感じているケースがある。
＜課題やニーズの把握方法＞ ・地域包括や居宅から ＜課題・ニーズ＞ ・若者の流出による高齢化の加速 ・買物難民の増加 ⇒法人として、事業の縮小も検討している。
・法人での総合相談窓口の設置による相談件数の集計による分析。 ・鹿角市地域包括支援センター、各居宅介護支援事業所等からの相談、サービス利用目的等からの分析。老老介護、認知介護世帯などに対する生活状況把握の困難さ。軽度要介護者の受け皿。緊急時の受け皿のニーズを感じています。

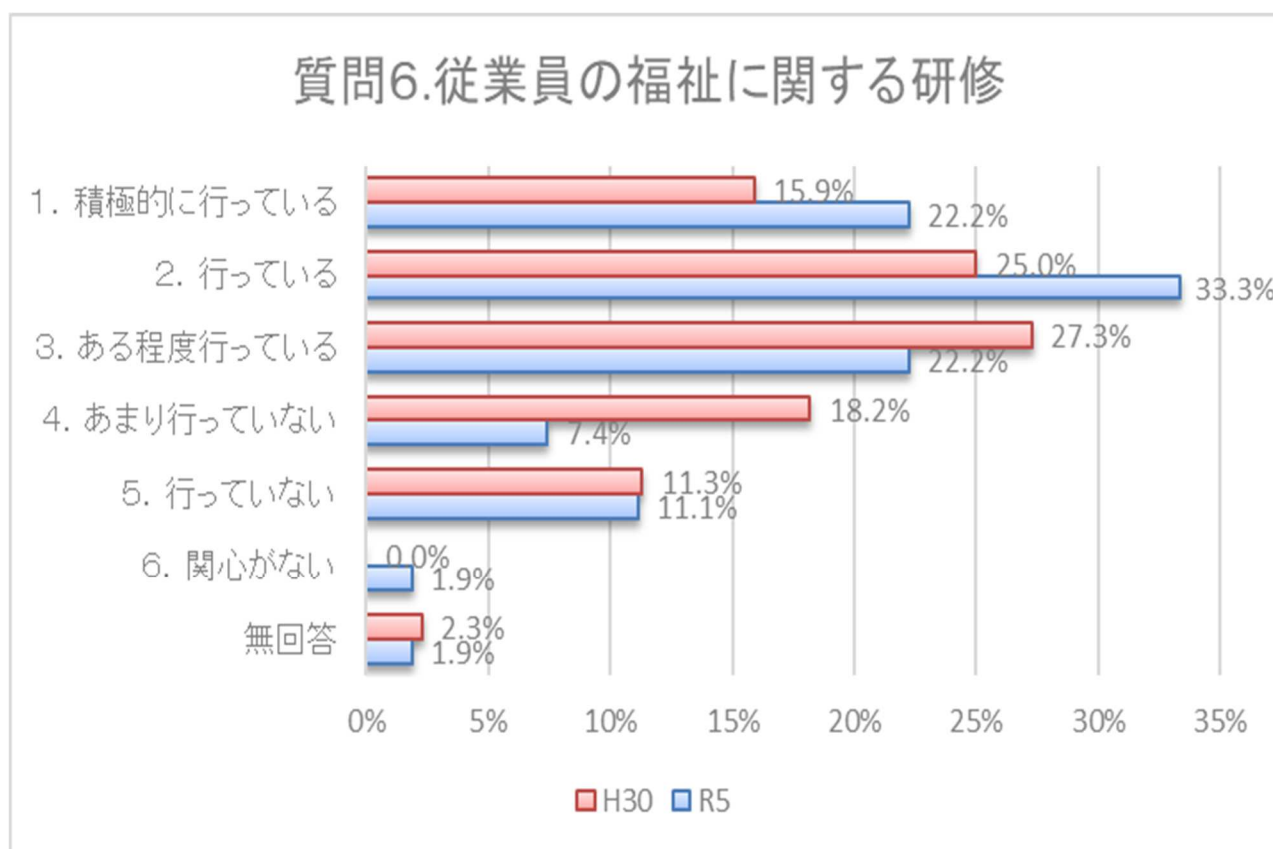
【質問6】

従業員（職員）の研修等として、福祉に関する体験や学習（障がい者理解のための疑似体験や介助の体験学習など）を行っていますか。

1. 積極的に行っている
2. 行っている
3. ある程度行っている
4. あまり行っていない
5. 行っていない
6. 関心がない

《調査結果の概要》

従業員の福祉に関する研修については、「行っている」が33.3%と最も多く、次いで「積極的に行っている」、「ある程度行っている」がどちらも22.2%となりました。



【質問 7】

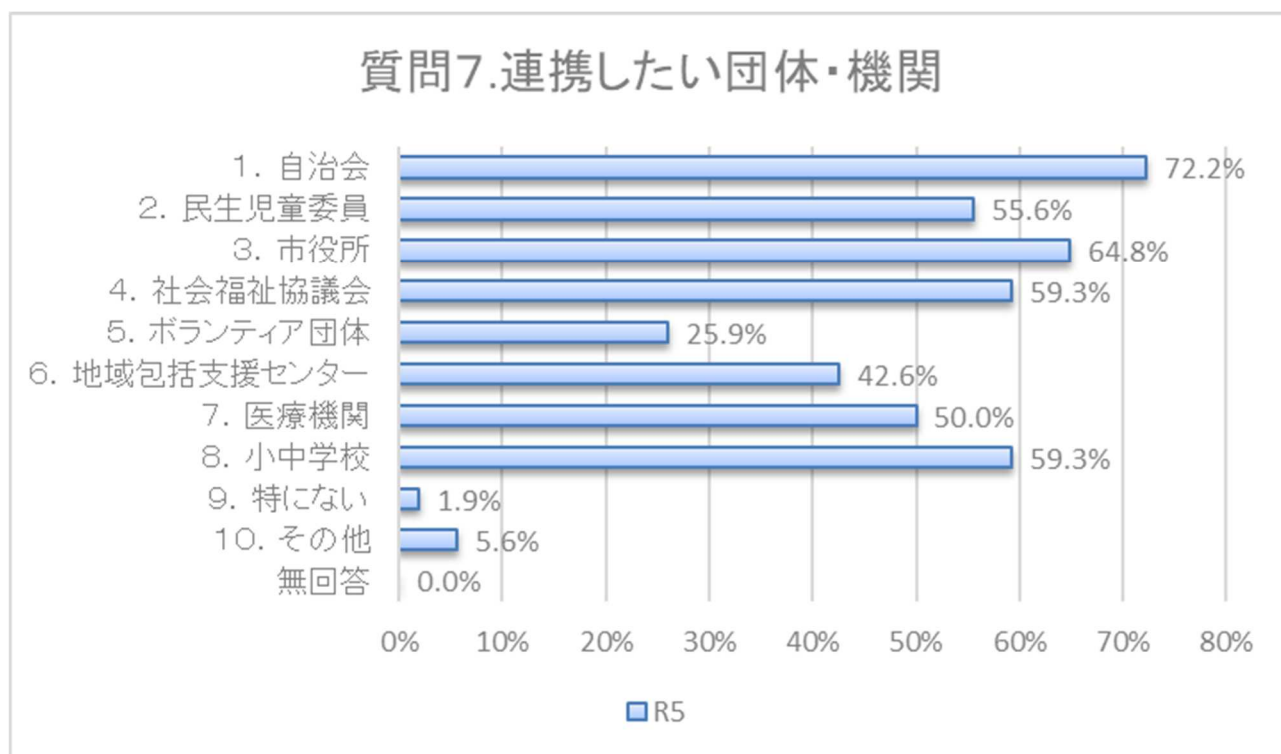
今後、地域福祉に関する活動を行う場合、さらに連携していきたい団体や機関（現在連携している団体や機関も含む）はありますか。

1. 自治会
2. 民生委員・児童委員
3. 市役所
4. 社会福祉協議会
5. NPO・ボランティア団体
6. 地域包括支援センター
7. 医療機関
8. 小中学校
9. 特にない
10. その他

《調査結果の概要》複数回答

地域福祉に関する活動をする上で連携している、またはさらに連携したい団体・機関については、「自治会」が72.2%と最も多く、次いで「市役所」64.8%、「小中学校」と「社会福祉協議会」が59.3%となりました。

また、その他では、「法テラス」、「支援学校」などが挙げられているほか、「障がいを抱える方々は地域にお住まいですので、係わる全ての団体・機関との連携が必須」という意見が出されています。



【質問 8】

地域において、成年後見制度の利用を必要とする人を発見したり、利用のための支援をしたりすることはありますか。

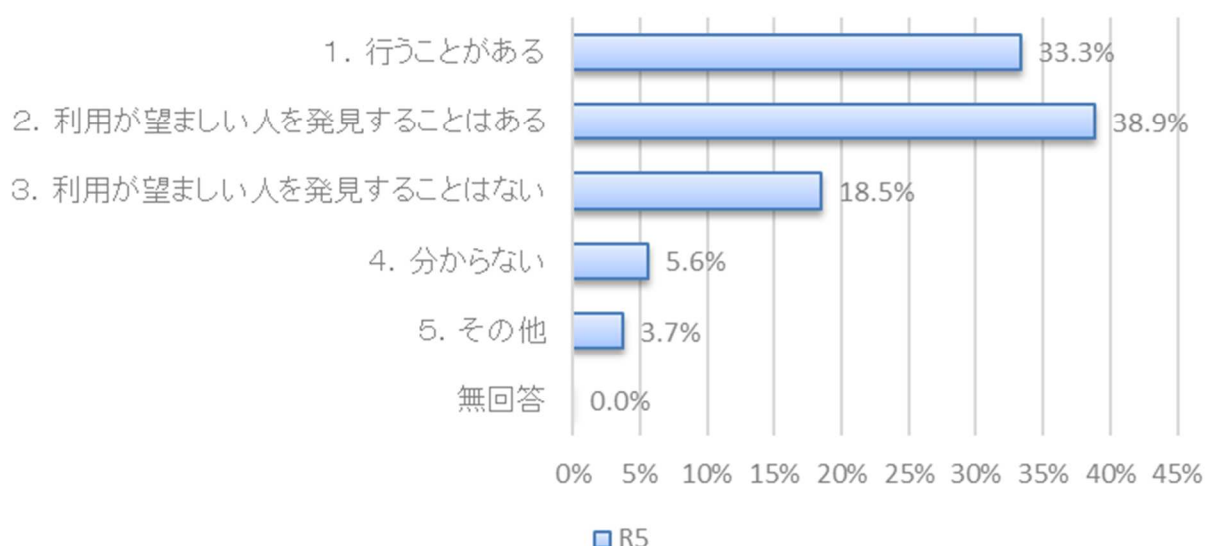
1. 成年後見制度の利用のための支援を行うことがある
2. 利用の支援を行うことはないが、利用が望ましいと思う人を発見することはある
3. 利用が望ましいと思う人を発見することはない
4. わからない
5. その他

《調査結果の概要》

成年後見制度の利用を必要とする人を発見したり、支援をすることがあるかについては、「利用が望ましいと思う人を発見することがある」が 38.9%と最も多く、次いで「行うことがある」が 33.3%、「利用が望ましい人を発見することはない」が 18.5%となりました。

また、その他では「すでに利用している人がいたりする。今後も探していきたい」や、「地域の方には制度があることは話したりしている」という回答もありました。

質問8.成年後見制度を必要な人の発見・支援



【質問9】

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし、誰一人取り残さない（SDGs 理念）地域づくりを進めるために、ご意見ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

※原文のとおり記載

・医療の充実（常勤医体制の整備）、緊急時の対応についての周知 ・地域の声を拾い上げ、支援に結びつけるワンストップ体制作り（声の集約・整備体制） ・アウトリーチ型支援体制の設立（来てもらうのではなく、自分たちで動く） ・福祉の下支えを行うための教育機関（小・中・高）での障がいなどの理解普及活動
・65才になる、または高齢になるまで、地域で孤立したり、全く支援を受けることなく生活されてきた方がいる。 なぜ、今まで誰からも支援がなかったのか、福祉関係や保健師等の関りがなかったのか大変疑問に感じます。もっと早くから支援があれば生活が変わったであろう方が隠れています。病院との連携と継続的支援をお願いしたいです。
・施設が災害時の避難所となっていることもあり、地域の拠点となれる様に、日頃から交流が必要だと思います。
・受診、買い物に独りで行けない方々へのサポート、介護保険外での活動等の周知が必要。
・ボランティアの確保（買い物支援、除雪など1つに特化したボランティアの会の立ち上げ）
・地域資源（人材等）を利用、活用し、できるだけ自宅で生活し続けられる地域を作ることが大事だと思います。
・医療や福祉がもっと充実できればいいと思う。 ・地域の行事等活発になり、誰でも参加しやすい環境を整えたい。 ・少しでも高齢者の意欲向上を目指したイベントを開催したい。
・医療、福祉、介護の充実 ・貧困をなくす ・地産地消を心がける ・情報発信をする
・福祉関係者が、その為には一番すべき役割を果たすべき。 ・支援計画等において、常にその人の家族全員の状況を把握しながら、きめ細やかな支援につなげていくべき。モニタリングの際、自分以外、家族の中の困り事や隣接のことなど何か問題あることは無いか、聞き出していく。
・各自自治会から独居の方の情報があれば、災害等の時、施設で受け入れ（一時的）できると思う。 ・情報を得ることで、孤立することはさけられると思われる。
・一人暮らしや高齢者世帯が増えているとともに、介護が必要な親と子の二人暮らしや日中独居などの、支援が必要な世帯も増えてきていると感じます。支援が必要な人が隠れている場合もあるため、相談できる場所があることの周知を今以上に強く進める必要があると思います。 ・また、身内が近くにいない人も多くなっているため、金銭管理や医療が必要な場面での同意等が課題となっていると思われます。権利擁護や後見制度の活用 of 推進が必要と感じます。
・子育て環境の充実：所得向上、治安、防災、医療、福祉 ・若者の定着：所得向上、雇用、産業振興、企業誘致 ・環境保全：地域コミュニティの活性化、空き家対策、耕作放棄地対策 ・交通手段の確保：買い物難民対策
・鹿角市の人口減少を食い止めることが、「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続ける」ことにつながるのだと思います。支えることができる人（労働者など）がいることで、「誰一人取り残さない」ことができるのだと思います。 ・具体的には、出産、育児、教育、医療、インフラ、雇用、企業誘致、高齢者支援、災害対策の充実などが、人口減少を食い止める手立てとして挙げられると思います。 ・鹿角市が力を入れている（入れていこうとしている）「カーボンニュートラル」に関連して、企業誘致はできないものかと思っています。

・鹿角市もまったく対策していないとは思っていませんが、効果がないのであれば意味がありません。

・車で移動できない人、バス（路線バス）の本数が少なく移動が不便な地域に住んでいるお年寄りが多くいるようです。そういう方のために、タクシーより安価な利用しやすい送迎の車や、移動販売車などがあれば良いのでは…と思います。

また、閉校になった学校を利用して地域のお年寄りの集える場所を提供してあげることも良いのでは…と思います。”

・高齢化がすすみ地域を支える若い人も少ない。

・今後、地域づくりを考えた時に必要とされるのは若い人に選んでもらえる地域にしていくことだと思う。

・地域として集まる場所がないため交流がない。

・コロナ前は仁愛の行事に地域住民の方に協力していただき、年2回は交流出来ていたが、今は恵愛会全体として感染対策中のため交流はなく、地域住民の離れてしまいました。個人的に付き合いは続いている。

・障がい者、高齢者のニーズ把握を行い、交通機関の拡大、タクシー券の拡充等、公的な支援が不足しているすべての住民に支援の手が提供できるよう、移動手段の確保。

・市として様々な対策をされていると思いますが、より効果的な手立てがあれば人口減少を止める等に繋がり、諸問題の解決に繋がるのではないかと思います。

・弱い立場の方はどうしても、地域の中で孤立しがちです。外に出て行けるような仕組みづくりが大切だと思います。地方の地域特性として、自家用車がない自由に行けない状況もあり、障害を持っている、高齢者であっても必要な場所へ安心して出かけられる交通機関等の整備も重要だと思います。

・花輪ふくし会ではR4年9月16日に『秋田県SDGsパートナー』として登録し、地域福祉に貢献するために、「笑顔とありがとうの心で地域福祉を創造します」の経営理念のもと、様々な取り組みを進めています。

世界共通の新たな価値観でもある「誰一人取り残さない」と考えを取り入れ、「誰もが幸せに暮らし続けられる社会の実現のために」その人がその人らしく、安心・安全に生きがいを持ち暮らせるよう、良質なサービスの提供を目指しています。

参考資料

地域福祉計画策定に関する事業所アンケート調査票

各 位

鹿角市長 関 厚
(公 印 省 略)

地域福祉計画策定に関する事業所アンケートへのご協力について（お願い）

日頃より、市政運営に格段のご理解・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本市では令和元年度から5年度までの5か年計画で、市の策定した第2期鹿角市地域福祉計画と、社会福祉協議会で策定した第4期地域福祉活動計画を一体的に推進しておりますが、今年度で現計画期間が終了となることから、次期計画の更新に向けて準備を進めております。

次期計画では、地域福祉計画を実行するために、認知症や障がいなどにより判断能力が十分でない場合に、財産の管理や日常生活等に支障がある人を社会全体で支えあうことを定める成年後見制度利用促進基本計画も一体的に策定することとしました。

地域福祉とは、地域において人々が安心して暮らせるよう、地域住民や公私の社会福祉関係者がお互いに協力して地域社会の福祉課題の解決に取り組むことであり、地域の皆様に協力していただくことが大変重要です。

このアンケート調査では、施設等を運営する上で感じられているご意見や考えを率直にお聞かせいただきたいと考えております。今後の計画推進にあたり、貴重な資料となりますので、調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

◇ 回答の提出方法 ◇

- ① 別紙アンケートに記入し、同封の返信封筒に入れて最寄りの郵便局、またはポストに投函するか、福祉保健センターの下記担当に直接提出してください。
- ② データ提出を希望する場合は、様式を送付しますので、soumu@city.kazuno.lg.jpにメールを送信してください。【件名：事業所アンケート用紙希望】
- ③ 令和5年 9月15日（金）までに提出してください。
(その他)
 - ・回答いただく方は、法人の代表者、各施設の施設長などを想定しておりますが、各法人等で選出をお願いします。

【お問い合わせ先】

〒018-5201 鹿角市花輪字下花輪50

鹿角市健康福祉部 福祉総務課 総務企画班

TEL0186-30-0233 / ax0186-30-2044

地域福祉に関する事業所アンケート

＜アンケート項目＞ 最もあてはまる番号を、1つ選んで○をつけてください。
※「地域」とは小学校区程度を想定してご回答ください。

【質問1】

地域住民が参加できるイベントを開催するなど、地域住民との交流を図っていますか。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1.積極的に交流している | 2.交流している |
| 3.ある程度交流している | 4.あまり交流していない |
| 5.交流していない | 6.関心がない |

【質問2】

地域住民の行事や集まりに参加していますか。

- | | |
|--------------|----------------|
| 1.積極的に参加している | 2.参加している |
| 3.ある程度参加している | 4.あまり参加していない |
| 5.参加していない | 6.行事や集まりの情報がない |

【質問3】

土地や建物などのスペースを地域に開放していますか。(例:駐車場や会議室など)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1.積極的に開放している | 2.開放している |
| 3.ある程度開放している | 4.あまり開放していない |
| 5.開放していない | 6.要望がない |

【質問4】

従業員に対してボランティア活動への参加を推進していますか。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1.積極的に推進している | 2.推進している |
| 3.ある程度把握している | 4.あまり推進していない |
| 5.推進していない | 6.関心がない |

【質問5】

(1)地域の抱えている課題や住民のニーズを把握していますか。

- | | |
|--------------|----------------|
| 1.積極的に把握している | 2.把握している |
| 3.ある程度把握している | 4.あまり把握していない |
| 5.把握していない | 6.把握する方法がわからない |

(2)質問5 (1)で1・2・3を回答された方に伺います。

課題やニーズの把握方法とその課題・ニーズを教えてください(自由記述)。

【質問6】

従業員(職員)の研修等として、福祉に関する体験や学習(障がい者理解のための疑似体験や介助の体験学習など)を行っていますか。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1.積極的に行っている | 2.行っている |
| 3.ある程度行っている | 4.あまり行っていない |
| 5.行っていない | 6.関心がない |

【質問7】

今後、地域福祉に関する活動を行う場合、さらに連携していきたい団体や機関(現在連携している団体や機関も含む)はありますか。

- | | |
|----------------|--------------|
| 1.自治会 | 2.民生委員・児童委員 |
| 3.市役所 | 4.社会福祉協議会 |
| 5.NPO・ボランティア団体 | 6.地域包括支援センター |
| 7.医療機関 | 8.小中学校 |
| 9.特にない | 10.その他() |

【質問 8】

地域において、成年後見制度の利用を必要とする人を発見したり、利用のための支援をしたりすることはありますか。

- 1.成年後見制度の利用のための支援を行うことがある
- 2.利用の支援を行うことはないが、利用が望ましいと思う人を発見することはある
- 3.利用が望ましいと思う人を発見することはない
- 4.わからない
- 5.その他()

【質問 9】

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし、誰一人取り残さない(SDGs理念)地域づくりを進めるために、ご意見ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

アンケートは以上です。ご協力、ありがとうございました。